

今月の主題

1

臨床検査の展望

「臨床検査」誌のリニューアルを飾る企画として、各領域のエキスパートに臨床検査の近未来を展望していただきました。

昨年暮れからの iPS 細胞をめぐる話題でも明らかなように、医学研究の進歩は実地医療に直結します。特に最近は治療の進歩がめざましく、それに牽引されるように診断の充実が求められる傾向にあります。臨床検査においても、今後は耳慣れない、または基礎的背景の理解が難しいものが登場してくることでしょう。項目の充実はもちろんのこと、既存の検査でもそれを進歩する診療に有効に活用させるというサービス面の充実も要求されていくでしょう。

新しいことには肅々と対応していけばよいわけですが、日頃から気構えしておきたいものです。本特集がお役に立ちましたら幸いです。

(山田 俊幸)